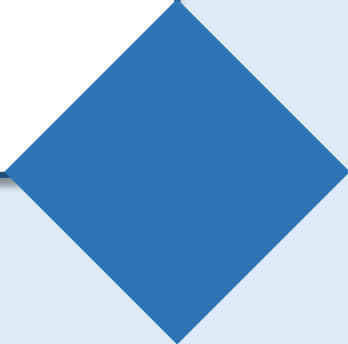




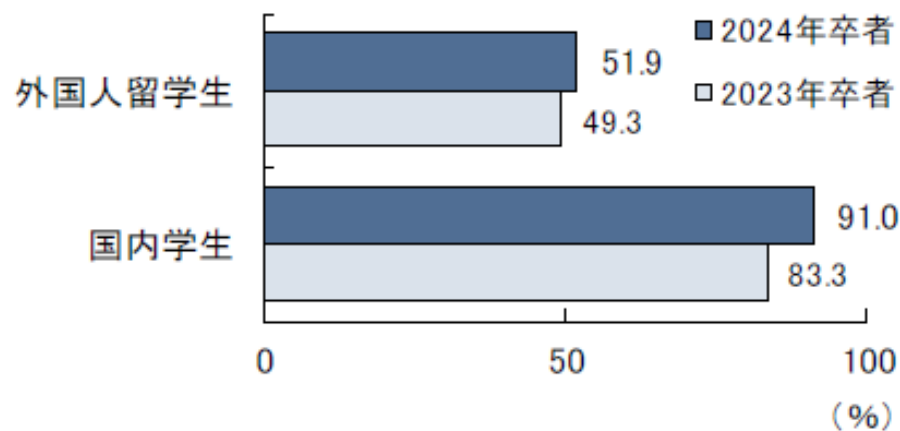
留学生のためのインターンシップ講座 ～インターンシップの重要性～

**愛知県「留学生地域定着・活躍促進事業」運営事務局
(株式会社日本旅行 愛知法人営業部)**



国内学生と留学生の インターンシップ等参加経験の違い

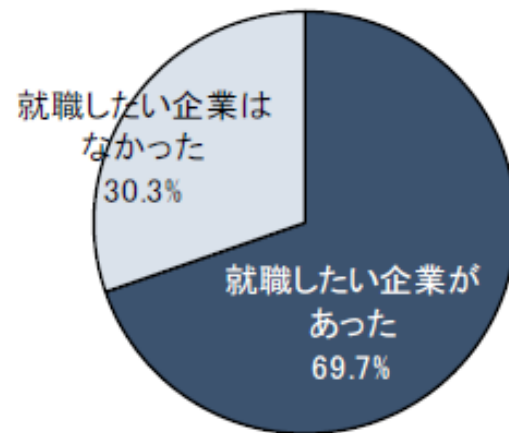
インターンシップ等参加経験率



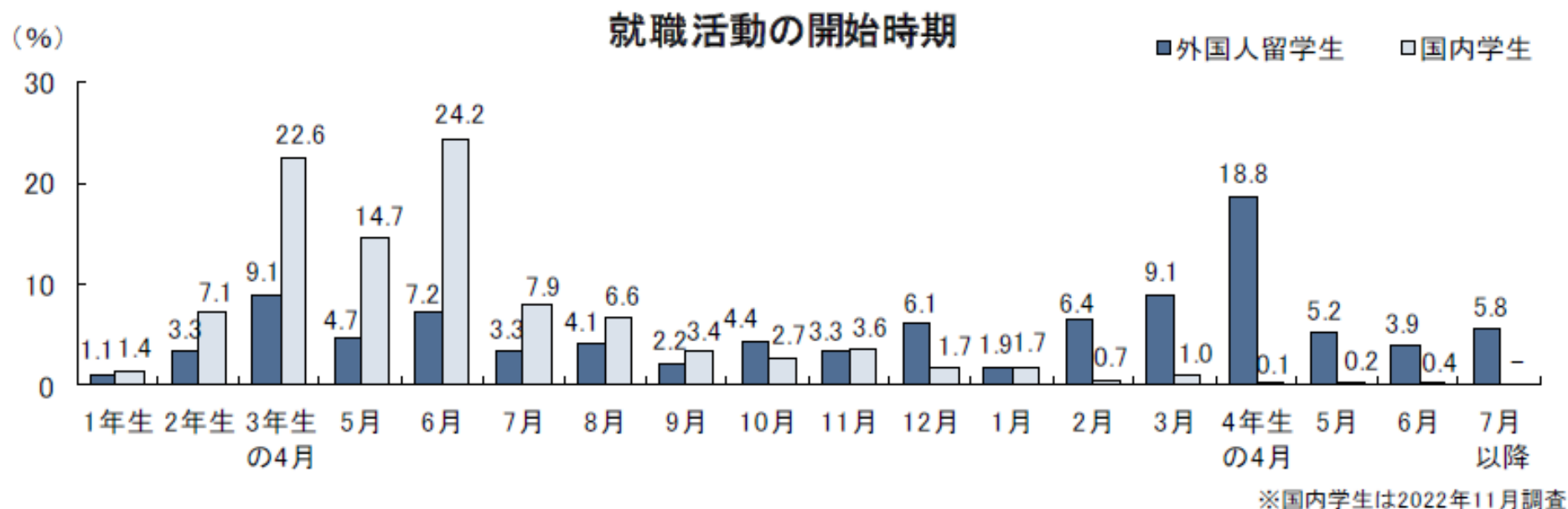
※オンライン形式含む

※国内学生は各年3月調査

インターンシップ等参加企業への
就職意向



就職活動の開始時期 外国人留学生と国内学生の違い



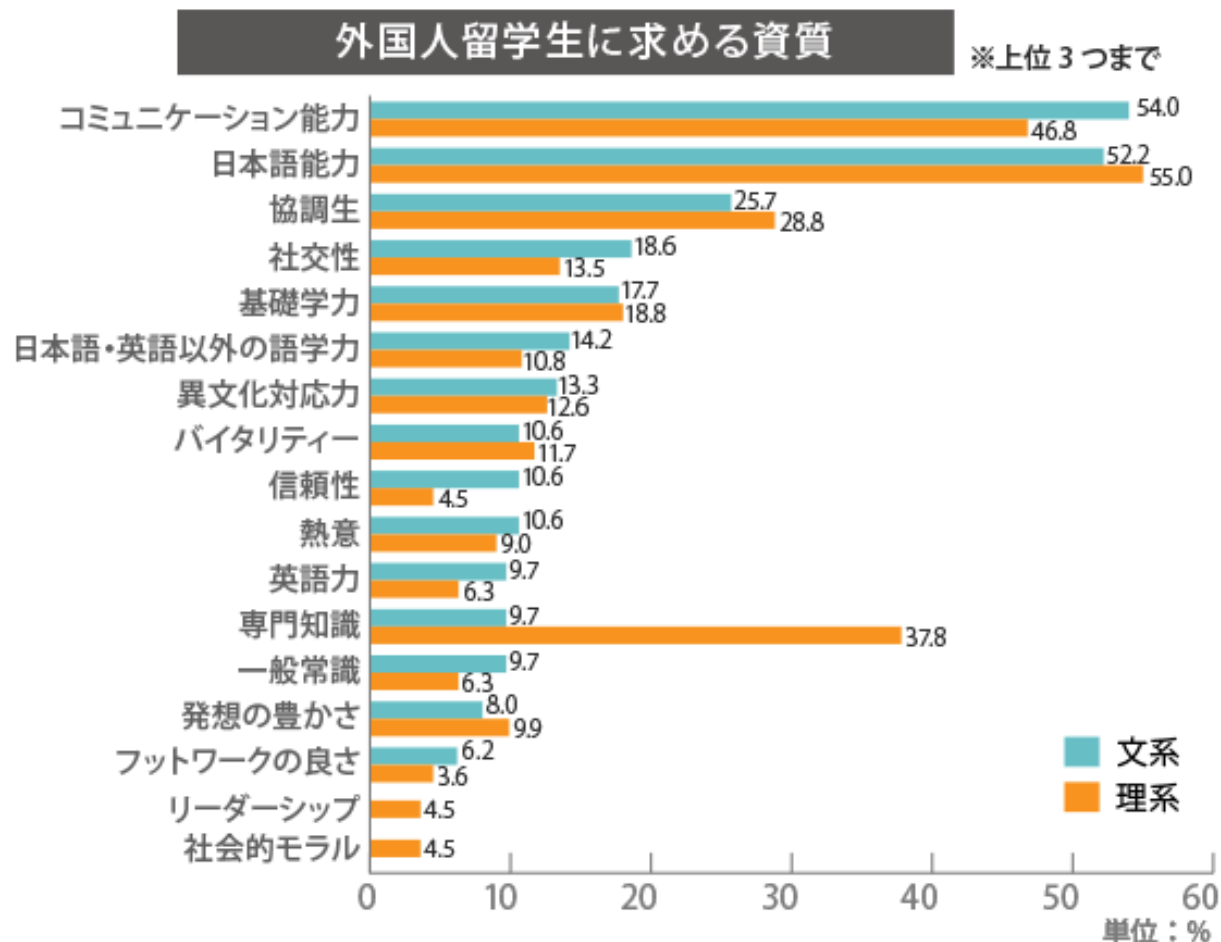
インターンシップの重要性

外国人・留学生在が就職活動を開始した時期は「4年生の4月」が最も多く（18.8%）、採用広報解禁（3月）以降の合計は42.8%。

国内学生は「3年生の6月」（24.2%）が最も多く、解禁前の合計が98.3%。

国内学生に比べ、外国人留学生の動き出しがかなり遅いことがわかる。ただし、「3年生の4月」（9.1%）など、早期から活動する層も一部見られる。

外国人留学生に求める資質

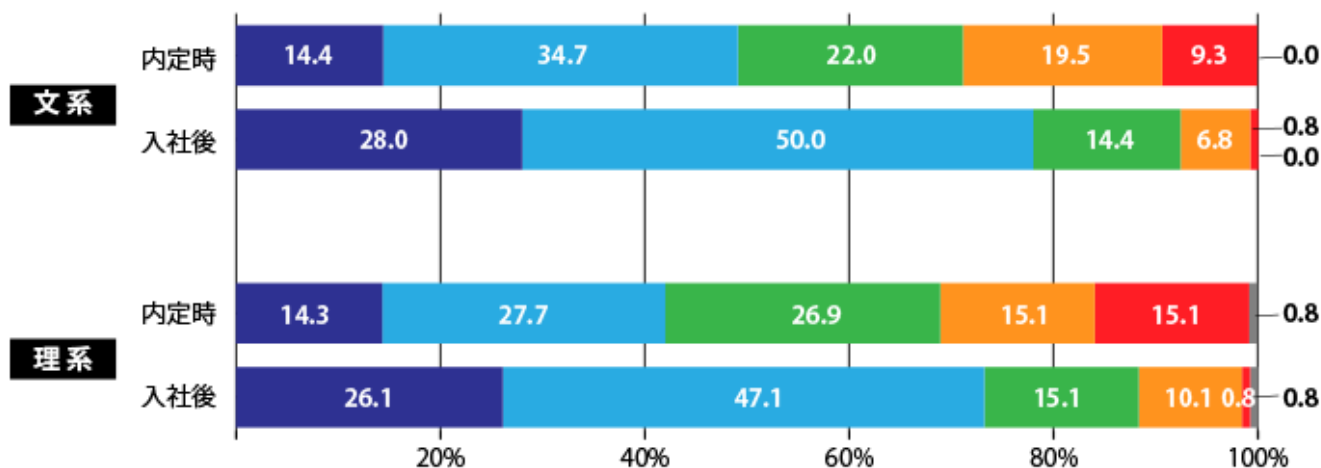


出典：ディスコ「外国人留学生/高度外国人材の採用に関する企業調査」(2023年12月)

外国人留学生に求める 日本語コミュニケーションレベル

外国人留学生に求める日本語コミュニケーションレベル

- どのようなビジネス場面でも日本語による十分なコミュニケーション能力がある
- 幅広いビジネス場面で日本語による適切なコミュニケーション能力がある
- 限られたビジネス場面で日本語による適切なコミュニケーション能力がある
- 限られたビジネス場面で日本語によるある程度のコミュニケーション能力がある
- 限られたビジネス場面で日本語による最低限のコミュニケーション能力がある
- 日本語によるビジネスコミュニケーション能力はほとんどない



おすすめポイント

1. 日本での就職活動に有利になる

- 日本の企業文化や職場の雰囲気を経験できる
- 実際の業務経験が履歴書やES（エントリーシート）でアピール材料になる
- 就職活動でよく聞かれる「ガクチカ（学生時代に力を入れたこと）」の題材になる

2. 日本語能力の実践的な向上

- 実際のビジネスシーンで使う敬語やメールの書き方を体験
- 職場での会話やコミュニケーションを通じて自然な表現が身に付く
- 「読む・書く・話す・聞く」の総合力が高まる

3. 職場の文化やマナーを理解する

- 日本のビジネスマナー（挨拶、時間厳守、報連相など）を身につけられる
- 社会人としての基本的なスキルが身につく

おすすめポイント

4. キャリアの方向性を見つける

- 自分がどんな業界や仕事に向いているかを知る機会になる
- 実際に働くことで、自分の「やりたいこと」「できること」のギャップを知る

5. ネットワークが広がる

- 企業の担当者や社員と関係を築くことで、将来的な就職に繋がる可能性もある
- 他のインターン生との交流からも刺激を受けられる

6. 企業が外国人材を評価するポイントを理解できる

- 企業は何を求めているのか（日本語能力だけでなく、協調性、責任感など）を知る
- 自分の強みと弱みを把握し、準備するチャンスになる